

議会報告会会議録

議会報告会会議録	
1 開会日	平成28年5月14日(土) 午前10時00分 開会 午前11時30分 閉会
2 場 所	国府支所 2階 第1・2会議室
3 出席議員	吉川重雄議長 (開会あいさつ) 坂田よう子副議長 (閉会あいさつ) 二宮加寿子議員 (司会進行) 三澤龍夫議員 (平成28年度予算の主な審査内容について) 片野哲生議員 (") 全議員 (少人数に分かれての意見交換) 関 威國議員 (記 録) 渡辺順子議員 (") 関 威國議員 (会場受付) 渡辺順子議員 (") 竹内恵美子議員 (マイク設置等) 奥津勝子議員 (") 高橋英俊議員 (写真撮影) 渡辺順子議員 (パワーポイント操作)
4 参加者	26人
5 報告事項	(1) 平成28年度予算の主な審査内容について (2) 少人数に分かれての意見交換

議長あいさつ、議員自己紹介の後、報告担当議員から決算審査についてパワーポイントを使い報告。その後、少人数に分かれての意見交換を実施した。

(1) あいさつ・・・吉川議長

平成 21 年 11 月 1 日に施行した「大磯町議会基本条例」の規程に基づき行っている議会報告会も 7 年目を迎えた。今回は平成 28 年度予算の審査における議論の経過・結果を報告する。

その後、少人数に分かれて意見交換を行う。日ごろ皆様が感じている身近な話題を一緒に話し合えればと考えているが、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。議会報告会は、議員個人の意見を申し上げる場ではない。内容によっては町の答弁が必要なものも出てくるが、この場で町に替わって答弁するものではない点をご了解いただきたい。町に対するご意見は、後日、町にお伝えする。皆様からいただいたご意見、ご要望は今後の政策提言に繋げていきたい。

(2) 平成 28 年度予算の主な審査内容報告

・・・三澤龍夫議員、片野哲生議員

『議会だより大磯』第 182 号及び議会報告会資料に基づき、平成 28 年度予算に対する予算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。

◎主な質疑

問： 一般会計が 100 億円を超える予算であるのなら、次世代へ伝えるような町の「宝」、財産があっても良いと思う。東京国立近代美術館で安田靉彦展を鑑賞し感じたことは、画伯が住んでいた大磯町が作品を 1 点も所蔵していないことである。平塚市美術館では 4 点所蔵している。文化勲章受賞の画伯の作品を、大磯町が「宝」として何点か所蔵していても良かったのではないかと思った。このことを考え積極的に取り組んでほしい。

答： 町にそのように伝え、議会も意識して考えていきたい。

問： 予算審査の報告だけでなく、議会が独自に取り組んだことも報告してほしい。例えば、11 月の議会報告会で机上配布となる陳情が多いといった意見があったが、その後、議会では対応したと聞いている。その辺の報告もしてほしい。

答： 陳情については取扱い基準を厳守し、しっかり遂行すべきであることを再認識した。議会運営委員会の中で、基準を確認しながら陳情の取扱いを決めている。

問： 国府橋の拡幅整備は 10 年来進んでいない。11 億円もの土木建設費があるが、国府橋に関する予算は幾らあるのか。特にバスなどが橋を通過中に大地震が起こったら大惨事になる。災害対策としても大事なところである。町長

の施政方針に災害に強い町づくりがなかったのは残念。副町長も橋の整備推進に係わり、来年度は国府橋の予算が組めるようにしてほしい。

答： 国府橋の予算は、不動産鑑定手数料 17 万円しかついていない。ご意見は町に伝える。

(3) 少人数に分かれての意見交換

少人数に分かれての意見交換を実施。参加者、議員それぞれが 4 グループに分かれ、意見交換のテーマは決めず、身近な話題について話し合いを行った。

◎主な意見

グループ 1 (町民 6 名・議員 3 名(竹内恵美子議員・二宮加寿子議員・高橋英俊議員))

意： 市町村合併に対する議論はあるのか。

意： マリア道の進捗状況はどのようか。

意： 災害が多い。災害ごとの全体像を把握した中で、しっかりと対策をとってほしい。

意： 町長選挙と町議会議員選挙は同時に行わないのか。

意： シルバー人材センターの活性化のために、また、元気な高齢者をつくるためにも、シルバー人材センターの職種をもっと充実させ、皆に仕事がまわるようにしてほしい。

グループ 2 (町民 6 名・議員 3 名(関威國議員・清田文雄議員・鈴木京子議員))

意： イノシシ被害について、町に問い合わせをしたが担当者不在でその後も連絡がない。再度問い合わせしたところ、見に来ると回答をもらったが、その後何の連絡もない。

意： 六所公園のトイレが完成したが、維持管理等こちらから問い合わせしなければ、町側より何の話もない。多額の費用をかけて作ったのだから引き渡し式ぐらい行うべきではなかったのか。作りっぱなしという感じがする。

意： 財源がないのであれば、大磯ブランドの特産品等をつくり販売すべきではないか。また、建物の高さ制限など規制緩和を図り、企業誘致を行うべきと考える。

意： スクールランチの味や量についてあまり良い評判を聞かない。スクールランチに地元食材はどの位使っているのか。また、その検証は行っているのか。

意： 町外の医療機関を利用した場合、予防接種等の金額が高くなる。医療の広域化を望む。

グループ 3 (町民 7 名・議員 3 名(三澤龍夫議員・玉虫志保実議員・渡辺順子議員))

意： 税収が下がり繰出し金が増えているが、歳入確保策はあるのか。必要なも

のに重点配分することが望ましいと考えるが、計画はあるのか。

意： 会館の修繕が見送られた。国府中学校の緊急工事で、会館修繕にしわ寄せが来ているのではないか。

意： 財政が逼迫している印象がある。出るお金はわかるが、予防できる具体策はないのか。町民に自覚を促すような町の具体的なアクションが見られない。

意： 広報掲示板に期限切れのチラシが貼ってある。悪質なケースは罰則が必要ではないか。掲示期限については、町でしっかり指導してほしい。

意： みなとオアシスは、2019年に本当にできるのか。漁協の建物は錆び、鉄筋が出ているところもある。建物が崩れるのではないかと心配だ。

意： 大磯町の待機児童数はどのくらいか。

意： 魚の朝市に行った。100円の魚を買うのに、駐車料金が350円かかった。集客を考え、駐車料金の割引券を発行する工夫も必要なのではないか。

グループ4（町民6名・議員3名（奥津勝子議員・片野哲生議員・柴崎茂議員））

意： 西湘バイパス二宮インターチェンジを出て国道1号（二宮）の交差点をスムーズに右折することができるよう、右折の矢印信号機を付けてほしい。今は青信号の時間が短くなかなか右折することができず危険だ。

意： 県道から小田原・厚木道路に行く際、新幹線のガード下を通るが、道が狭く非常に不便だ。道を広くしてほしい。

意： 伊藤博文邸やNCR跡地は今後どうなるのか。

意： 観光を進めるといっていながら、町のトイレはあまりにも少ない。

意： 自主防災組織運営交付金が3万円に減額された。交付金額を上げてもらうことはできないのか。

（4）閉 会
